



平成 23 年 4 月 7 日

各 位

東 京 都 港 区 六 本 木 一 丁 目 6 番 1 号
デ イ ッ プ 株 式 会 社
代表取締役社長 兼 CEO (最高経営責任者) : 富 田 英 揮
(コ ー ト 番 号 : 2 3 7 9 東 証 マ ザ ー ズ)
《問合せ先》
執行役員 経営管理本部長 : 大 谷 栄 一
(TEL 03-5114-1177)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 2 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 2 月期業績予想の修正 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,100	600	580	240	2,102 33
今回修正予想 (B)	9,500	210	165	15	131 37
増減額 (B-A)	△600	△390	△415	△225	—
増減率 (%)	△5.9	△65.0	△71.6	△93.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	7,969	316	320	123	1,077 60

修正の理由

平成23年2月期における国内の雇用情勢は、有効求人倍率において、緩やかな改善の傾向が見られましたが、完全失業率が依然として高水準で推移し、新卒大学生の就職内定率が過去最低の水準となる等、未だ回復には至らず、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、主力事業である「バイトルドットコム」および新規事業である「ナースではたらこ」において、市場の回復に先んじた積極的な成長戦略を実施した結果、前事業年度を上回る売上高の見込みとなるものの、「はたらこねっと」を主とするエージェント（派遣・請負）領域において、企業の派遣需要の減少に伴うスタッフ募集ニーズの低迷が想定以上に継続した結果、前事業年度を下回る売上高の見込みとなりました。この影響により、売上高において当初予想を下回る見通しとなりました。

一方、売上高が当初予想を下回るものの、来期以降の成長のための戦略投資として、新機能導入のためのシステム開発投資とともに、認知促進とブランディングのための広告宣伝投資を実施いたしました。また、販売チャネル拡充施策として、代理店・地方提携会社等による売上拡大を図った結果、代理店手数料の増加並びに、有力代理店の取り込みを進めるための販売促進費が増加いたしました。

これらの結果、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても当初予想を下回る見込みとなりました。

以上

(注意) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございます。今後の業績の予想につきましては随時見直しを行い、開示ルールに従って公表してまいります。